

津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動
	発表値 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現	
大津波警報	10m超 (10m~) 10m (5~10m) 5m (3~5m)	巨大	低地部・かさ上げ地にいる人は、 ただちに高台へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報 が解除されるまで安全な場所から離れない ください。
津波警報	3m (1~3m)	高い	ここなら安全と思わず、より高い 場所を目指して避難しましょう！
津波注意報	1m (0.2~1m)	(表記無)	低地部にいる人は、 ただちにかさ上げ地へ避難してください。 津波注意報が解除されるまで低地部に入ら ないでください。

りくせんたかたし たかたちく
陸前高田市 高田地区
ちゅうしんしがいちつなみひなん
中心市街地津波避難マップ
にげちず
(逃地図)
令和元年7月版



コミュニティホール
海からの高さ48m

高田第一中学校
海からの高さ36m

本丸公園
海からの高さ40m

光照寺
海からの高さ45m

陸前高田斎苑
海からの高さ45m

夢アリーナたかた
海からの高さ31m

高田高校
海からの高さ37m

「津波注意報」が
発令されたら
かさ上げ地へ避難

「津波警報」が
発令されたら
高台へ避難

津波から身を守るために

1. 強い揺れ、弱くても長い時間ゆっくり揺れた地震を感じたら、直ちに海岸から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。
2. 情報を待つ避難ではなく、まず避難し、避難先で情報を入手しましょう。
3. 海岸の地形によっては、小さな津波が突然大津波に変わります。警報ではなく注意報でも油断禁物です、海岸から離れましょう。
4. 津波は繰り返し襲ってきます。一度引いたからといって家に戻ることは厳禁です。
5. 揺れや引き潮がなくても津波は襲ってくる場合もあります。津波注意報・警報が発令されたら、すばやく避難しましょう。
6. 津波は川を遡上しますので、川沿いに逃げるのは危険です。
7. 津波の情報は、ラジオ、テレビ、防災行政無線などの正しい情報を入手しましょう。

凡例

- 主な避難路
- ← 避難方向
- 大型集客施設
- 施設名
海からの高さ〇〇m 避難場所



道の駅高田松原
東日本大震災津波伝承館

タピック45 (震災遺構)